



インスピレーションになろう

ガバナー月信

2019年3月号 Vol.9



Contents

第2回米山記念奨学生委員長セミナー報告	1	出席報告	11
第2回ロータリー財団セミナー・資金管理セミナー報告	3	コーディネーターニュース	12
第2回派遣学生オリエンテーション報告	4	ハイライトよねやま	13
ロータリーショーケース 2560	5	ロータリー文庫通信	15
新入会員紹介・訃報・今後の予定	10		

■第2回米山記念奨学生委員長セミナー報告

米山記念奨学生委員会
寄付増進委員長
中町 圭介 (小千谷RC)

2月2日13時より16時までホテルオークラ新潟で行われました国際ロータリー第2560地区2018-2019年度第2回米山記念奨学委員長セミナーについてご報告いたします。

当日は現各クラブ米山奨学委員長、次年度(2019-2020)のクラブ会長及び米山奨学委員長、地区米山委員を合わせまして計118名の参加者となりました。

副ガバナー新保清久様よりご挨拶を賜り、地区米山記念委員長宇尾野からの挨拶。

講演は新潟米山学友会理事 バロリ ブレンディ様より日本での活動、故国アルバニアのお話をいただきました。笑い声が絶えない楽しい時間となりました。



バロリ ブレンディ様

その後、現カウンセラー山宮典浩(新潟中央RC)様より通称サヤさん(事業創造大学院大学 カザフスタン)との交流体験を発表していただきました。「米山記念奨学事業の真の受益者はロータリアンである」と言うことが改めてわかる素晴らしい内容でした。



山宮典浩 様

米山記念奨学生チャン ティ フォンさんベトナム出身敬和学園大学（新潟北 RC）、タム マオ シェンさんマレーシア出身新潟大学（新潟南 RC）2名から日本での体験談、祖国のこと、RC とのかかわり、カウンセラーさまとの交流など体験発表を堂々と日本語で行っていただきました。米山奨学生による体験発表は私たちこの事業に係る者としていつも喜びと励みになります。



チャン ティ フォンさん



タム マオ シェンさん

休憩をはさみ、奨学生選考委員長 宮嶋より「選考会の報告、新規カウンセラーの選任について」私より「寄付増進について」ご説明申し上げました。

来年度は新規奨学生 19 名、継続奨学生 9 名、海外応募者対象奨学生制度 1 名の計 29 名となりホストクラブ、カウンセラーも同数になります。

奨学生は学校または住居の所在地と月 1 回以上の例会参加義務またその他行事に対応できる交通手段などの関係でホストクラブ、カウンセラーをお願いできるクラブが偏ってしまうことが非常に残念なことです。

送迎などのご協力をお願いします奨学生未受け入れクラブがありましたら事務局までご連絡ください。

最後に米山梅吉氏が 1868 年明治の始まりに誕生され、大正、昭和、平成また新年号へと時代が変わり、私達を取り巻く環境も著しく変化しております。政治、宗教、人種、性別、年齢にかかわらず、日本で学びたい学生、日本が大好きな学生。そして彼らを金銭面、精神面で支援していく米山記念奨学事業が世界と日本。新潟と世界を結ぶ『懸け橋』として今後も発展していくことを感じる 1 日でした。



■第2回ロータリー財団セミナー・資金管理セミナー報告

ロータリー財団委員会

委員長 佐々木 昌敏 (小千谷RC)

2019年2月16日13時より万代シルバーホテルにて「第2回ロータリー財団セミナー・資金管理セミナー」がおこなわれ2560地区の次年度会長、ロータリー財団委員長が出席して頂きました。

セッション第1部では地区補助金の活用についての説明の後、分水RC、高田東RCから事例発表していただきました。特に分水RCは「ベトナムの風に吹かれて」の映画上映及び原作者小松みゆき氏のトークショーをされて、大好評でしたところ、ご鑑賞された方からこんなに良いことをしているなら、ロータリークラブに加入しようという話があり、地区補助金を利用すると会員増強にもつながる可能性があるということ、これからも、積極的に利用したいとのことでした。



VTTについては、VTTの基本的な説明をした後、新潟RCからVTT報告をしていただきました。

地区奨学生につきましては制度の説明をした後、グローバル奨学生からビデオレターでの体験談を発表していただき、地区奨学生からは会場に来ていただいて直接体験談を発表してもらいました。

グローバル補助金の活用についても制度の説明をした後に、再度、新潟RCから事例の発表をしていただきました。



セッション第2部では次年度に向けたスケジュールと資金管理ルールを説明して、出席者の質問に答えて長時間のセミナーを無事に終える事が出来ました。

最後に、今回の出席者全員が次年度に向けて取り組むための真剣な眼差しや熱い気持ちを感じ取ることが出来てロータリー財団委員会メンバー全員が感謝申し上げる次第です。

本当に出席者の皆様有難うございました。



■第2回派遣学生オリエンテーション報告

青少年奉仕委員会
青少年交換委員長
三牧 好起（頸北RC）

2月10日（日）クロスパル新潟にて、第2回派遣学生オリエンテーションを開催しました。

出席者は、長期・短期派遣予定学生と保護者、山本 和則地区パストガバナー、大谷光夫地区ガバナーエレクト、石本 隆太郎地区危機管理委員長、スポンサークラブの皆様です。

オリエンテーションでは、「地区の危機管理について、派遣の中止と注意事項、危険から身を守る」等についてお伝えしました。

また、派遣先でのプレゼンテーションの発表練習を実施しました。オリエンテーションは、あと2回予定しておりますので、関係者の皆様におかれましては、引続きのご協力をよろしくお願い致します。



ロータリーショーケース 2560

■三条RC 二つのクリーン活動

幹事 西山 徳芳（三条RC）

私たちの三条市には五十嵐川が流れています。その川は信濃川の支流で、えぼし岳と守門岳を源としT字型の合流点にあたる三条市は川港の町として発展し栄えてきました。

町の中を流れているので残念ながらゴミが河川敷に流れ着きますが、そのゴミをボランティアで清掃する活動があります。「五十嵐川を愛する会」が中心となり、昨年も11月4日に20団体の約140人が五十嵐川の河川敷のゴミ拾いを行いました。

このボランティア活動は2007年7月13日の水害の1年後から行われています。朝7時から作業をするのですが、年々拾うゴミの量も少なくなっており、今ではペットボトルや空き缶と流木くらいで、清掃というよりは朝の川辺の散歩という感じです。もうやめてもよいのではとも思うのですがこのいきさつを遡ると私が22歳の頃、三条に戻ってきた時にはすでにあり、当時は青年会議所が主体となってクリーン協議会を運営しておりロータリークラブもそこへ参加する形でした。

当時の河川敷から出るごみの量は半端ではなく、もはや工事と勘違いするような量で2tトラックが50台を超えたこともありました。かなり汚れていましたが年々少なくなっていたので、当時会議で自信満々に量を報告すると三条ロータリークラブから出向されてきた大先輩から「ゴミの量を自慢するようでは困る。何もしなくてもきれいなのが一番。市民の意識が向上してきれいになるようにならなければ意味はない。」とご指摘いただき頭を叩かれたようなショックを受けました。

今の事業の主体者は変わりましたがこのクリーンの奉仕活動にロータリークラブのメンバーとして参加していると当時のことが思い出されます。ゴミが少なくなったとはいえ必ず出席しなければという使命感から、毎年活動後には拾うゴミのない輝く川を見て達成感が心地よく嬉しくなるのです



蛇足ですが、三条ロータリークラブのクリーンの奉仕活動には別のクリーン行事が春にあります。21年前に三条ロータリークラブの40周年事業として植樹した桜の木が槻の森にあります。市民球場に通じる道路にあり、毎年花見の季節になるとたくさんの人々を楽しませています。この桜の木は植樹しただけではなく、雪解け後に傷んだ枝の手入れや、桜の木の周りの清掃を行う奉仕活動も継続して行っています。この活動を通してたくさんの人々の季節ごとのイベントや行事を気持ちよく行えることに繋がることが我々の活動の目的の一つともいえるのではないのでしょうか。活動自体は目立つわけでもなく、だれが手入れを行っているのかわかってはいませんが、ロータリークラブの活動とともに連綿と続いている。これからもこの桜の手入れを行っていくことが一隅を照らすこと、すなわち国の宝ではないでしょうか。



ロータリーショーケース 2560

■十日町北RC 小6・中1交流野球大会

青少年奉仕委員長 服部 和雄（十日町北RC）

「中一ギャップ」ということばをご存知でしょうか。小学校から中学校に進学した時に、学習環境や生活リズムの変化になじむことができず、いじめが増加したり不登校になったりする現象です。

9年前、このことを中学生の保護者から相談を受け議論したところ、小6、中1の児童生徒が同じチームでプレーするような野球大会を行うことにより、小学生は、中学生の野球への取り組み姿勢を直接体験し、より具体的に中学校生活をイメージできるのではないかと。また、中学生は小学生と接することにより、下級生への思いやりや指導方法などを学び、上級学年であることを自覚できるのではないかと考えました。

さらに小学生、中学生の保護者や指導者が交流することにより、様々な情報や意見を交換する環境づくりにもつなげることができると考えました。このような考えのもと、当クラブでは青少年奉仕委員会の事業として「十日町市中魚沼郡6．1年生交流野球大会」を市の野球連盟と協力して行っています。



さて、今年で第9回目の本大会ですが、参加チーム数は9チーム。選手は183名での開催となりました。地元の本格的な野球場で開催し、アナウンスがあったり、スコアボードを使用したりするなどしています。以前は、多くの選手、保護者や指導者が、勝敗にだけこだわってしまい相手にヤジを飛ばすようなこともありましたが、この大会では、試合の勝敗の結果だけではなく、できるだけ全員が試合に出ること、交代のときは全力で疾走することや、自分のチームに限らず相手のチームに対してもファインプレーには賞賛し、ミスをしていても労いの言葉をかけることなどを推奨しています。このような様々な評価ポイントが、各チームの指導者によって採点され、より多くの得点を獲得した選手が、今年の本大会から採用された「新潟メソッド賞」という賞をもらうことができます。いわゆる個人賞なので、選手たちも必死です。この「メソッド」という言葉は、本来、「方法」とか「手法」という意味ですが、この大会の中では、「友情の育成」、「学びからの健やかな成長」などの思いを込めています。



大会の終了後は、小6、中1の保護者、指導者、ロータリー大会関係者が参加してにぎやかな懇親会が行われました。ここでは小中学生の保護者から様々な質問や意見が飛び交いました。他のチームの指導方法や選手の情報などにもとても関心があるようです。また保護者から指導者への厳しい意見などもありました。主催者への要望もいただきました。次回開催の参考にしたいと思います。とても充実した素晴らしい懇親会でした。

結びに、この地域でこの大会を経験し、感銘した中学校の野球部の先生たちが、転勤先の地域でも、有志を募ってこのような小学生と中学生の交流野球大会を開催されているそうです。これからもこのような青少年育成の場が増えていくことを心より願っています。

ロータリーショーケース 2560

■津南RC ロータリーの森・河岸段丘桜の育成維持活動

会長 大口 康幸 (津南RC)

1. ロータリーの森

2003～4年度の原信一ガバナー年度で「環境保全に手を貸すことによって、地球を美しく蘇らせましょう。」という第2560地区の活動指針の下で、当クラブから滝沢正義アシスタントガバナーを輩出した関係で、当クラブの管内のニューグリーンピア津南(NGP)の敷地内にNGP様のご厚意により無償で敷地を提供していただき、ブナ300本・八重桜15本の植樹をIM行事の一環として行いました。そして、「ロータリーの森」と名付け、石材業の会員の方のご厚意により立派な石碑も鎮座しています。

八重桜15本はNGPの芝生施設の一角の植樹であったため、後の維持管理はNGP様にお願いしている状況です。一方ブナ林については、NGPの敷地内といっても周囲の林の一部を構成していますので、施肥・下草刈り等は必須作業との思いから毎年9～10月に秋草刈りと、6月に夏草刈りの2度の作業日程を移動例会として組み実施しています。NGPの「ロータリーの森」の敷地は標高650メートル付近に位置しているため積雪量も半端なく雪による枝折れもあり枯れてしまった苗木の補植も行ってきました。



2. 河岸段丘桜

苗場山麓の激しい隆起と信濃川などの浸食により作られた大地の造形が津南地域の河岸段丘で、この9段のひな壇上の河岸段丘の地形は日本最大級の物です。その内の1段の段丘の縁(ふち)に桜の植樹が行われています。この場所は毎年好評いただいています「ひまわり畑」が開催される「沖の原台地」です。この段丘の縁に平成4～6年にかけて津南町が主体となり「町民段丘さくら」を企画し、町内の有志に対しオーナーの募集を行い、当クラブの会員も多数応募し桜の苗木を植樹しました。当初は各オーナーの方が自分の苗木の維持管理を行っていましたが、ロータリーの森の維持管理作業を必要とした時からこの段丘桜の下草刈りも併せて行うようになりました。藪蚊も多く虫よけをスプレーし午後3時過ぎから作業に当たります。

3. 慰労会

当日は例会の後、以前はバーベキュー・最近では焼肉屋さんで生ビールと焼肉で「水分補給と栄養補給」を行います。もちろん、仕事の都合等で草刈り作業に無念にも参加できなかった会員の方も参加して、作業の慰労と反省並びに樹木の生育状況などの情報交換を行い、次回の作業の打ち合わせもします。懇親と友情を深め、充分すぎるほどの補給を行い慰労会をお開きにします。

3月地区の予定 【水と衛生月間】

(RI レート: \$1=¥110)

	地区主要行事	会場
2 (土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルイタリア軒
9 (土)	ローターアクト地区大会	やすね
16 (土)	会員増強・新入会員(入会1年~3年)研修セミナー	ホテルオークラ新潟
21~24 (木~日)	青少年交換関西研修旅行	関西
23 (土)	大谷年度 クラブ会長エレクト研修セミナー(PETS)	研修会:ビーチホールまがたま 懇親会:ホテル國富アネックス
30 (土)	米山カウンセラー研修会	A N Aクラウンプラザホテル新潟
28~31 (木~日)	インターアクト海外研修	台湾

4月地区の予定 【母子の健康月間】

	地区主要行事	会場
6 (土)	阿賀野川ライン RC 創立 20 周年記念式典	阿賀の里
6 (土)	ロータリー財団地区奨学生選考試験	万代シルバーホテル
8~9 (月~火)	第1・第2・第3ゾーン会員基盤向上セミナー	ホテルオークラ東京
14 (日)	第7分区 I M&高田東 RC50 周年記念式典	デュオ・セレッソ
14~18 (日~木)	規定審議会	米国シカゴ
20 (土)	米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	A N Aクラウンプラザホテル新潟
28 (日)	全国インターアクト・ローターアクト研究会	福岡国際会議場
28 (日)	2019年4月短期・長期青少年交換学生オリエンテーション	クロスパル新潟

新入会員紹介

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
長岡	馬場 和之	2019.1.8	N S T	副部長
小千谷	望月 博之	2019.1.17	社会福祉法人 苗場福祉会	所長代行
水原	臼井 直哉	2019.1.30	有限会社 臼井農畜産	専務取締役
巻	西川 高幹	2019.2.1	FOXネットワークス株式会社	社長
三条南	加藤 一芳	2019.2.4	加藤商事株式会社	代表取締役
中条	高橋 学	2019.2.6	(有)高橋興業	代表取締役
長岡東	近藤 正明	2019.2.6	(株)新潟ゲーゼル工業	代表取締役社長
新発田城南	石井 宏明	2019.2.7	イシイ鉄工(株)	専務取締役

訃報

クラブ名	氏名	ご逝去日	会社名	役職
新発田RC	山田 清次	2019.2.3	山田建設(株)	代表取締役
津南RC	高橋 政徳	2019.2.3	(株)高橋工務所	代表取締役社長
吉田RC	橋本 享英 2015-16年山本年度 会長	2019.2.15	(有)橋本工業所	代表取締役会長

心よりご冥福をお祈りいたします。



第2560地区 2018-19年度 1月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	1月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	82.78	375	387	37	12	
新発田	2	90.58	95	96	0	1
村上	4	87.63	37	37	9	0
水原	4	85.71	27	28	0	1
中条	3	90.09	36	37	3	1
新発田城南	4	72.58	43	48	4	5
豊栄	4	86.45	24	24	3	0
新発田中央	4	75.87	49	52	5	3
中条胎内	4	82.90	37	38	7	1
村上岩船	2	73.21	27	27	6	0
第2分区(9クラブ)	79.01	437	445	20	8	
新潟	4	86.00	86	92	1	6
新潟東	3	81.82	57	56	6	-1
新潟南	4	85.41	104	104	3	0
佐渡	4	88.50	7	7	0	0
新潟西	4	80.93	39	41	1	2
佐渡南	4	84.49	41	42	5	1
新潟北	3	57.52	40	41	0	1
新潟中央	4	76.04	25	24	0	-1
新潟万代	3	70.37	38	38	4	0
第3分区(6クラブ)	73.70	117	115	4	-2	
新津	4	73.75	18	20	0	2
村松	4	81.25	9	8	0	-1
五泉	3	66.67	13	12	1	-1
白根	4	77.27	37	35	1	-2
新津中央	4	76.67	30	30	1	0
阿賀野川ライン	3	66.60	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	76.43	367	378	26	11	
三条	4	85.76	56	60	0	4
燕	4	62.92	33	34	2	1
加茂	4	81.16	30	29	5	-1
三条南	2	87.97	48	47	3	-1
分水	4	63.20	28	32	3	4
見附	4	73.00	20	20	1	0
吉田	3	88.50	28	32	4	4
三条北	4	80.60	64	58	2	-6
巻	4	83.80	20	24	0	4
田上あじさい	4	57.10	7	7	1	0
三条東	4	76.67	33	35	5	2

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	1月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	84.45	316	318	23	2	
長岡	4	87.06	45	48	1	3
柏崎	3	85.29	43	43	0	0
長岡東	3	86.80	67	63	4	-4
柏崎東	3	89.80	48	49	4	1
栃尾	4	82.95	22	23	0	1
長岡西	4	79.08	56	55	5	-1
柏崎中央	3	80.18	35	37	9	2
第6分区(6クラブ)	81.04	149	149	10	0	
十日町	3	97.97	33	33	3	0
小千谷	4	61.84	33	34	4	1
雪国魚沼	4	70.60	27	27	2	0
十日町北	3	93.94	22	22	0	0
津南	3	82.71	27	27	1	0
越後魚沼	4	79.17	7	6	0	-1
第7分区(8クラブ)	78.54	330	333	21	3	
高田	2	97.32	65	64	0	-1
直江津	3	72.11	61	67	5	6
新井	4	81.06	30	34	2	4
糸魚川	4	65.63	41	40	3	-1
高田東	3	79.63	37	36	2	-1
糸魚川中央	3	74.51	36	35	0	-1
頸北	4	87.50	15	15	1	0
越後春日山	4	70.55	45	42	8	-3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,091	人
1月末 会員数	2,125	人
女性会員数	141	人
純増減会員数	34	人
当月平均出席率	79.37	%

※先月号の訂正
12月末日会員数
分水RC (29名⇒31名)
2560地区合計 (2,107名⇒2,109名)



■「2019年国際協議会が開催されました」

2019年1月13日から19日まで、アメリカのサンディエゴで国際協議会が開催されました。この3月号がお手元に届くころは、各地区のガバナーエレクトは国際協議会での成果を新年度に生かすべく、PETSや地区研修・協議会の準備に大わらわでしょう。

2019年は3年ごとに開催される規定審議会の年でもあります。2016年の規定審議会では、「柔軟性」のキーワードの下、例会の開催頻度や態様、そして出席について決める「例会と出席」、会員の入会資格を決める「会員身分」、この二つのカテゴリーにおいて、それぞれのクラブ細則で決めれば標準ロータリークラブ定款に反していても細則の方が優先するという、まさに驚きの改正がなされたことはまだに記憶に新しいところで。「柔軟性」を実現したクラブはどの程度あるのでしょうか。また、その成果は上がっているのでしょうか。

2019年国際協議会で国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長は「革新性と柔軟性」というテーマで講演し、「ロータリークラブが将来どのように変わっているか、少し想像してみてください。」「あまり深く想像力を働かせる必要はありません。このようなクラブは既に存在していますから。」として、「家族も気軽に参加でき、移動型の例会時間と例会場所を採用したクラブ、「組織的に地元のローターアクトクラブとインターアクトクラブを活動に参加させる」ようにしたクラブを紹介しています。さらには「パスポートクラブ」という新しいコンセプトのクラブを紹介し、このクラブでは例会を開くのは年間僅かに6回で、オプションとして例会がない月に交流行事を開いているということです(このクラブでは財団に毎年1000ドル寄付するか、ロータリークラブや地区内のNPOと一緒に少なくとも40時間の社会奉仕を行わねばならないそうです)。

「柔軟性」は一面では既に世界標準になっているということでしょうか。もしそうであれば、それが既存のロータリークラブの活性化にどの程度の成果をもたらしたかについて、もっと実証性のあるデータを示してほしいと思います。そして是非とも先端的な実践をしているクラブの会長や幹事の考えを聞きたいものです。地区やゾーンで希望者を募り、新しい試みを実践しているクラブの訪問ツアーを企画するのも一案かもしれません。

ガバナーエレクトは、今、ロータリーの最も新しい情報に接した存在でしょう。彼ら彼女らは新年度に向けて新しいコンセプトで会員を鼓舞し、クラブを元気にすることを任務としています。私たちコーディネーターは今後ともその手助けをし、ロータリーの発展のために役立ちたいと考えています。

第3ゾーンロータリーコーディネーター補佐
滝澤 功治(神戸須磨RC)

■「日本人の幅広い年代に対するロータリーの広報と放たれたインスピレーションを受けた人々のロータリーへの参加」

およそ1世紀も増加してきた日本人の人口が一昨年よりついに減り始めました。その一方で現在65歳以上の人口は全体の27.7%を占めるため超高齢化社会となっています。いわゆる「少子高齢化」「人口減少社会」に日本ロータリーが立ち向かっていくためには短期的・長期的観点から日本人の幅広い年代に対する広報を行い、また放たれたインスピレーションを受けた人々のロータリーへの参加を促さなければいけません。2017年6月開催のRI理事会・財団管理委員会合同会議において「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」と言う新しいビジョン声明が採択されました。集まった人々はその理念を基本として末永く変化をもたらすための行動を起こす「世界を変える行動人」ひいては「地域社会を変える行動人」としてより幅広い年代層にインスピレーションを送り届けて革新・柔軟性のある広報を務めることによりロータリーのブランディングを高めるように努力しなければいけません。ロータリーの認知度をさらに向上させる事がロータリークラブの会員になる事の魅力を高めさらにクラブとの深い関係性、絆を形成することに繋がってきます。今私の身の回りで行っていることを紹介しましょう。その一つは私達が製作したアニメ「おしえてロータリー英語字幕Ver」について本編への導入ストーリーを付加して今までは受動的に見ていたのを見ていただくようにリメイクしました。幼稚園～80歳位までの一般の方々にもこのアニメを見ていただく機会を作り、公共イメージの向上会員増強の一助となるように働きかけています。もう一つは最近において年会費7万円の新型衛星クラブを立ち上げました。これは既存のロータリークラブのサブクラブとして運営していく次世代のクラブでリアルクラブ+オンライン衛星クラブの組み合わせになっています。従来の衛星クラブのような移行形態という考え方にとらわれず発想の転換で衛星クラブ会員と親クラブ会員との間に多機能化した要素を持たせています。対象年齢層は若い世代から誇りを持った終末期(在宅、老人福祉施設、ホスピス)までとし、キャッチフレーズは「やめる機会を失うクラブ」「やめるチャンスは末期の水」です！各地区で参考になれば幸いです。

第3ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター補佐
前田 直俊(坂出東RC)



2019 学年度米山奨学生の選考を全地区で実施

2019年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が12月上旬から1月下旬にかけて、全国34地区の各選考委員会によって行われました。指定校からの申込者1,384人のうち、学部・修士・博士課程奨学金と地区奨励奨学金を合わせた616人(枠)が合格予定です(今後、他の奨学金合格等による辞退・繰上げによって人数の変動あり)。このほか、現役奨学生の延長制度である

クラブ支援奨学金、2019学年度から正規プログラムとなった渡日前採用型の海外応募者対象奨学金、台湾および韓国の米山学友会が候補者(博士号をもつ上級研究員)を推薦する海外学友会推薦奨学金の合格予定者も報告されています。

2019学年度の奨学生数は、新規合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた850人(枠)となります。

ホーチミンの学友グループが奉仕活動

昨年12月16日、ホーチミンの米山学友グループが第16回奉仕活動を実施しました。ベトナムにはまだ正式な学友会はありませんが、ホーチミンでは学友たちが、年に数回の奉仕活動を行っています。

今回の訪問先はホーチミン市内の視覚障がい者福祉施設、An Binh ホーム。以前にも同ホームで奉仕活動をしたことがあり、施設の子供たちと2年ぶりの再会を果たしました。子供たちから口々に「視覚障がい者マラソン大会でメダルを獲得した」「大学を卒業して就職することができた」などの嬉しい報告を受け、成長を実感する訪問となりました。寄付金約3万円のほか、調理器



具やシャンプーなどの日用品を寄贈しました。当日は、学友4人のほか、同学友グループが奨学支援しているHUTECH大学のベトナム人学生3人も活動に参加。「ベトナムの若者にも、私たち学友グループの活動に参加してもらおうことで、奉仕の精神を身に付けてもらえたら」と、チュオン トゥイ ランさん(2006-07/大宮北東RC)は期待を込めて語りました。

寄付金速報 — 下期も順調にスタート —

1月までの寄付金は前年同期と比べて0.8%減(普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:1.4%減)約850万円の減少となりましたが、直近5年間の中では1月に入金された単月の寄付額では一番多い金額となり、下期も順調に良いスタートを切ることができました。

1月は普通寄付金(クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付)下期分の納入が主となります。今年度は1月末までに全クラブの75%、1,696クラブからご納入いただきました。今後ともご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

北京・上海で学友が集合

【華北】

12月23日、華北学友会の忘年会が北京市内で開催され、北京・天津を拠点とする学友19人が集まりました。華北学友会としての集まりが開かれるのは、数年ぶりのことです。元会長の韓霏さん（1996-98／豊田RC）が米山奨学生時代の時のカウンセラーが齋藤直美理事長で、20年来の親交が続いているという縁もあり、当会から齋藤理事長と岩邊事務局長も出席し、学友たちからの熱烈な歓迎を受けました。また、当日の参加学友の



一人、劉亜斌さん（2000-01／千葉南RC）は現在、日本と中国を拠点に仕事をしており、世話クラブの千葉南RCの会員にもなっていると嬉しいニュースも報告されました。昨年10月には、クラブの創立55周年記念旅行で中国・大連に出かけ、劉さんのコーディネートで千葉南RCの会員17人が現地の児童福祉施設を訪問して子どもたちと交流。その通訳も大連在住の米山学友が務め、ほかの学友たちも集まって、会員の皆さんとの親睦交流を深めたとのこと。

【上海】

上海を拠点とする中国米山学友会が1月12日、年次総会を開催し、全国から学友47人が参加しました。今回の総会は「致青春」をテーマとし、焦徳思会長（2000-02／伊丹昆陽池RC）の挨拶に続いて、活動報告・財務報告がありました。また、同学友会が4年間にわたって継続している奉仕活動、甘肅省臨洮県の苟家山小学校から王校長がはるばる参加し、支援のお礼を述べたほか、学友会活動に積極的に参加する4人の学友が表彰されました。第二部の懇親



会では、参加者から事前に募集した米山奨学生時代の写真をスライドに映し、世話クラブ例会や奉仕活動に参加した時の写真、また、カウンセラーと一緒に写真を、当時を回想しながら各自が紹介しました。「貴重な1枚1枚の写真に感謝の気持ちがたくさん込められていました。参加した学友の中には、当時のことを思い出し涙が出たという人もいました。私たちの青春にはいつも、日本のロータリアンの方々がいました

と、幹事を務める件曉敏さん（2005-07／東京東江戸川RC）がコメントを寄せてくださいました。

【訃報】 評議員 佐藤博明氏（第2540地区） 逝去

評議員の佐藤博明氏（第2540地区）が1月18日にご逝去されました。享年73歳でした。

佐藤氏は、2013-14年度の国際ロータリー第2540地区ガバナーで、2015年9月に当会評議員に就任され、以降、4年間にわたり評議員としてご奉仕くださいました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

文庫通信 [375]

ロータリー文庫通信375号 2019年2月 シェルドン特集

ロータリー精神の中核である「奉仕の理念」(The ideal of service)は時代と共に深化してきました。アーサー・F. シェルドンが提唱した「He profits most who serves best」は、初期のロータリーの奉仕理念の原点であり、ロータリーの一つのモットーとして今も受け継がれています。この標語の意味について、シェルドン自らが書いた「The meaning of the motto」という著作を、田中毅 PDG が先ごろシェルドン監修の月刊誌「Business Philosopher」から発見しました。「The Gate」と共に紹介し、併せてこの著作の田中毅 PDG の翻訳と、シェルドンに関する多くの著作の中から最近の2編をご紹介します。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
The meaning of the motto (The Business Philosopher 1920年12月号)	Arthur Frederick Sheldon シェルドン出版社	1920	8P	※
モットー「He profits most who Serves best」の真意	アーサー F. シェルドン 著 ； 田中毅 訳 -	2019	6P	※
The Gate (The Business Philosopher 1922年11月号)	Arthur Frederick Sheldon シェルドン出版社	1922	2P	※
The Gate 入口	アーサー F. シェルドン 著 ； 田中毅 訳 -	2019	3P	※
シェルドンの森を巡る旅 経営学に基づく奉仕理念	田中毅 源流の会	2017	136P	※
シェルドンのすべて	田中毅 -	2019	12P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。 〓

* 資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



トップページには三つの窓があります。上記矢印「HP利用方法」をクリックしていただきますと、「ホームページの利用方法」というPDFが表示されます。

ここには1999年2月ホームページ開設以来、データベース化された全ての資料の検索方法が書かれています。

尚、過去の文庫通信一覧については、左窓の「詳細はこちらへ」をクリックしてください。